

シュリンクバック対策用バンド

ケーブルに巻き付けて、シュリンクバックを抑制します。

特長

- 取り付けスキルも工具も必要ありません。
- 腕金などに引っ掛けてケーブルに巻き付けるだけです。
- 大がかりな工事は必要なく、既設のケーブル端末にあとづけで取り付けられます。
- 100年のケーブル製造経験から生まれたシンプルならせん構造です。



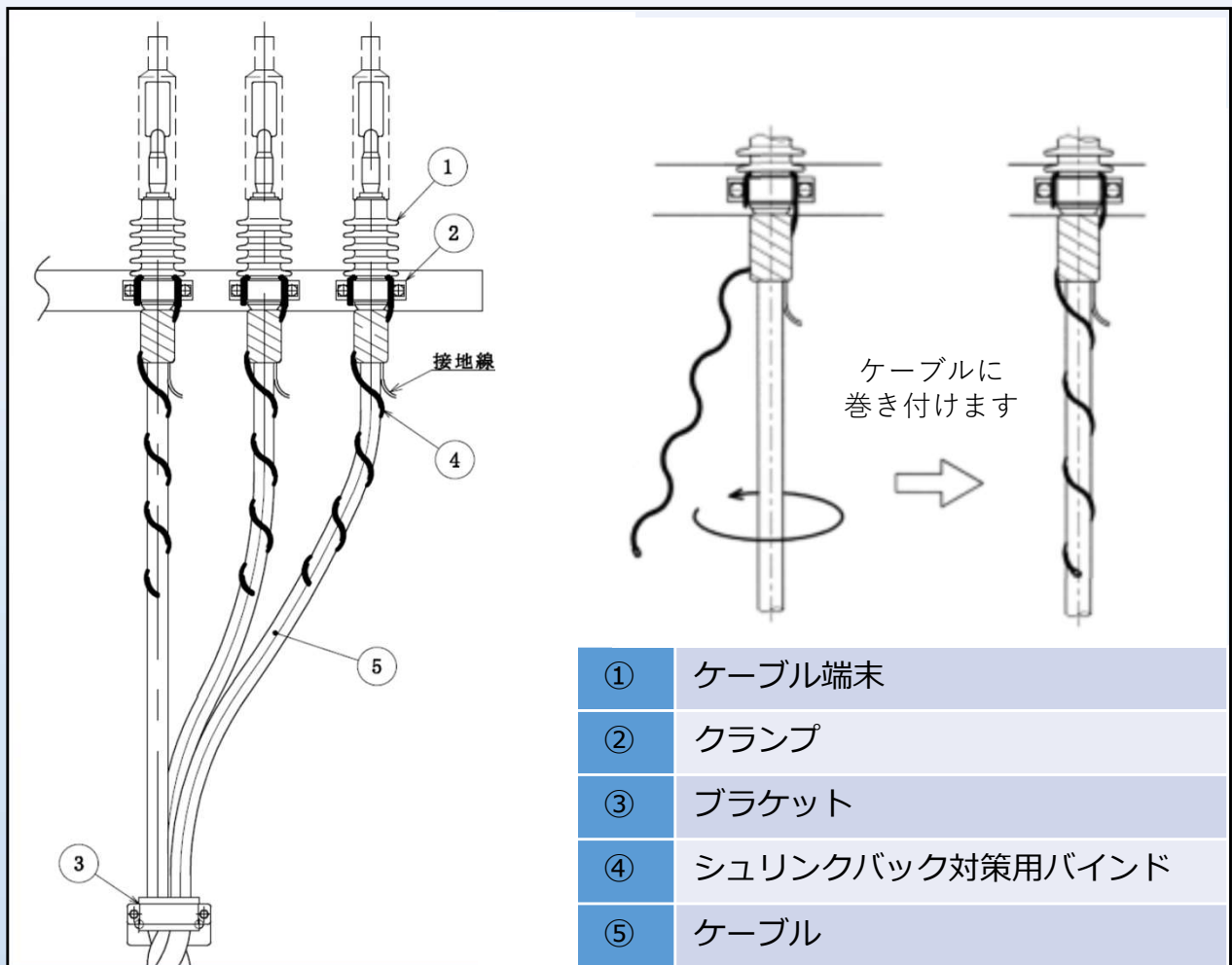
種類

現地曲げタイプ	ケーブルサイズ (mm ²)	全長 (mm)	フックタイプ	ケーブルサイズ (mm ²)	全長 (mm)
	6.6kV CV 60	690		6.6kV CV 22	650
	6.6kV CV 100	725		6.6kV CV 38	670
	6.6kV CV 150	760		6.6kV CV 60	690
	6.6kV CV 200	790		6.6kV CV 150	760
	6.6kV CV 250	810		6.6kV CV 250	820
	6.6kV CV 325	845		6.6kV CV 400	890

性能

項目	性能
初期性能	シースのスリップ量が5mm以下であること。(引張力：98N)
ヒートサイクル試験性能	スリップ量が20mm以下であり、ヒートサイクル後にケーブルを解体したとき、遮へい銅テープに異常がないこと。
繰返し応力試験性能	スリップ量が20mm以下であり、各部に異常がないこと。

ケーブル端末への取り付け



シュリンクバックとは・・・

ケーブル製造時の残留応力が日射や通電により開放され、シースが収縮する事象です。末端部でシュリンクバック現象が起これると、地絡事故に至る可能性があります。

